

H28 年度 全国軽費老人ホーム協議会 事業報告

平成 28 年度は、日本総研受託の老人保健健康増進等事業、「軽費老人ホームのサービス提供に要する費用の基準等のあり方に関する調査研究事業」の検討委員会に参画した。全国調査等の結果、平成 29 年 3 月 23 日付厚生労働省老健局高齢者支援課事務連絡(事業概要版ならびに事務連絡:巻末資料)を得た。

本年度は全国 8 ブロック代表による、実践発表大会に加えて、軽費・ケアハウス職員基礎研修を実施した。また、全軽協執行体制の基盤強化を目的とし、運営規定の見直しを行った。

平成 28 年 4 月の熊本地震発生後、4 月より義援金を募集し、全国より非社員施設1件を含む計 62 件の施設より合計 1,743,413 円の義援金が寄せられた。9 月に熊本県軽費老人ホーム部会へ贈呈を行った。皆様のご厚意に深く御礼申し上げる次第である。

以下、具体的な平成28年度事業内容について報告する。

全軽協ビジョンへの主な取り組みと成果

◎軽費老人ホームにおける経営基盤の安定確保への要望書について

一般財源化10年の経過の中で、近年各都道府県における費用徴収基準のばらつきが、軽費老人ホームの運営に影響を及ぼしている。平成28年度老人保健健康増進等事業では、費用徴収基準の見直しが検討されることから、軽費老人ホームの設置目的である低所得高齢者の負担増にならないよう、またサービス提供費の根拠について、自治体の財政状況を理由としない基準を示していただくことを主な主旨として、厚生労働省大臣宛に要望書の提出を 3 月に行った(要望書:巻末資料)。

◎消費税増税への対応について

<取り組み経緯>

平成 25 年 6 月 役員勉強会 テーマ「社会保障・税の一体改革に伴う消費税upについて」の実施

平成 25 年 7 月 消費税増税にかかる影響調査票の原案作成 役員において調査実施

平成 25 年 11 月 厚生労働大臣宛要望書原案作成ならびに都道府県知事宛要望書原案作成

平成 25 年 12 月 5 日付 消費税増税への対応**要望書**(全軽協発第 13120501)を厚生労働大臣宛に**提出**

<成 果>

平成 26 年 3 月 27 日付事務連絡(厚生労働省老健局高齢者支援課から各都道府県・指定都市・中核市・養護老人ホーム・軽費老人ホーム担当課(室)あて発出)『消費税率の引き上げに伴う「老人保健措置費支弁基準」及び「軽費老人ホーム利用料等取扱基準」の取扱いについて』が発信される

消費税増税への各都道府県対応 決定状況一覧

20170531 現在 全国軽費老人ホーム協議会調べ

NO	ブロック	都道府県・政令・ほか	施行日	生活費関係	事務費関係	備考
1	北海道	北海道	27. 4. 1	○	○	暖房費の期間が10~4月と2カ月延長となる
2		札幌市	29. 4. 1	○	○	
3	東北	秋田市	26. 4. 1	○	×	秋田県中核市

4	東北	宮城県	28. 4. 1	○	○	事務費本人徴収額も消費税率アップ分の改定 仙台市は改定されていない
5		福島県	28. 4. 1	○	○	生活費は消費税増額対応。事務費補助金は地方 交付税算定基礎額増加率の基本額に上乘せ
6		仙台市	29. 4. 1	○	○	
7		山形県	29. 4. 1	○	○	
8	関東	茨城県	26. 4. 1	○	○	28年4月一般事務費単価 108900円を 109800 円に 900円アップ
9		埼玉県	26. 4. 1	○	×	
10		栃木県	26. 4. 1	○	×	
11		静岡県	26. 4. 1	○	○27. 4改定	27年4月事務費単価増額分と同様改定
12		静岡市	26. 4. 1	○	×	静岡県政令市
13		長野県	26. 7. 1	○	○27. 4改定	
14		長野市	26. 7. 1	○	○27. 4改定	長野県中核市 29年4月事務費再改定(地域 手当7級地を反映 1.5%up)
15		群馬県	26. 4. 1	○	○	
16		高崎市	28. 4. 1	○	○	群馬県中核市
17		神奈川県	27. 4. 1	○	○	28年4月事務費本人徴収額も消費税率アップ 分の改定
18		東京都	28. 4. 1	○	×	
19		千葉県	28. 4. 1	○	○	
20	東海	三重県	26. 7. 1	○	×	
21		石川県	27. 4. 1	○	×	
22		福井県	27. 4. 1	○	×	
23		岐阜県	27. 4. 1	○	×	
24		愛知県	27. 4. 1	○	×	
25		富山県	29. 4. 1	○	○	
26	近畿	兵庫県	26. 4. 1	○	○27. 4改定	27年4月事務費本人徴収額も事務費と同様改定
27		滋賀県	27. 4. 1	○	○	
28		和歌山県	27. 4. 1	○	×	
29		大阪府	28. 4. 1	○	×	
30		大阪市	28. 4. 1	○	×	大阪府政令市
31		堺市	28. 4. 1	○	×	大阪府政令市
32	中国	山口県	26. 4. 1	○	○	
33		鳥取県	26. 10. 1	○	27. 4一部改定	事務費一部改定とはケアハウスのみ
34		島根県	26. 10. 30	○	○	26年4月から適用
35		広島県	27. 1. 1	○(※)	○	事務費本人徴収額も 100~1100増額 (※)27.4.1 生活費上限額の見直し+1000円 まで可能

36	中国	岡山県	27. 3. 1	○	○	事務費補助金はH27 年度から適用。 事務費本人徴収額も補助金と同時改定
37	四国	香川県	26. 9. 1	○	○27. 4改定	
38		高松市	26. 9. 1	○	○27. 4改定	香川県中核市
39		愛媛県	26. 12. 1	○	○27. 4改定	27 年 4 月事務費本人徴収額も消費税率アップ 分の改定
40		高知県	26. 4. 1	○26. 11	○	事務費は26. 4遡り適用、生活費関連が11 月から
41	九州	佐賀県	26. 4. 1	○	○	事務費本人徴収については27. 4～改定
42		福岡県	27. 4. 1	○	○	
43		久留米市	27. 7. 1	○	○	福岡県中核市
44		北九州市	27. 4. 1	○	○	福岡県政令市
45		福岡市	28. 4. 1	○	×	福岡県政令市
46		沖縄県	27. 4. 1	×	○	
47		長崎県	28. 4. 1	○	○	
48		佐世保市	28. 4. 1	○	○	長崎県中核市
49		熊本県	28. 4. 1	○	○	
50		宮崎市	28. 9. 1	○	×	宮崎県中核市
51		長崎市	29. 4. 1	○	×	長崎県中核市
52		大分県	29. 4. 1	○	×	
53		大分市	29. 4. 1	○	○	大分県中核市
54		熊本市	29. 4. 1	○	○	熊本県政令市
55		鹿児島市	29. 4. 1	○	×	鹿児島県中核市

※今後も都道府県等の対応状況について継続して見守り情報収集活動を行う

○社員拡大 新規入会 3 施設(総数 513 施設)

○全国社会福祉法人経営者協議会、高齢者福祉事業経営委員会に全軽協代表として参加

第 1 回	8 月 2 日 全社協 会議室	(1) 作業部会:介護の質に関する評価指標について ① 質評価指標のあり方(構成・達成度・過程の各局面) ② 高齢期のライフ・ステージでの支援に評価軸を置く (2) 委員会 ① 経営状況実態調査回収データについて ② 介護の質の考え方の整理課題について
第 2 回	10 月 4 日 全社協 会議室	(1) 全体委員会 ① 社会福祉法人による高齢者福祉事業モデルについて ② 介護人材に関する検討課題について (2) 作業部会:介護の質に関する評価指標について アウトカム指標について(サービスニーズ対応の判断基準について)検討

第3回	11月8日 東海大 学友会館	作業部会:介護の質に関する評価指標について 「社会生活基本調査 A 票行動分類」に基づく基準設定の検討
第4回	12月6日 全社協 会議室	全体委員会 (1) 各作業部会の検討状況について ① 介護における質の評価指標について ② 経営実態調査集計結果について ③ 社会福祉法人による高齢者福祉事業モデルについて (2) 高齢者福祉事業経営セミナー(2月新横浜開催)計画について
第5回	1月17日 商工会館	作業部会:経営実態調査集計結果を仮説と対照して整理
第6回	2月7日 全社協 会議室	(1) 作業部会:介護の質に関する評価指標について 評価軸・評価項目・評価手法・評価対象の整理 (2) 全体委員会 各作業部会の進捗報告
第7回	3月7日 全社協 会議室	全体委員会 ① 29年度に向けた課題整理 ② 平成30年度介護報酬改定等に関する意見について

参加している「介護の質の評価指標について」の作業部会は、29年度に継続して最終的なまとめの方向性で進めている。全軽協の代表としては、サービスの質の評価について、介護保険法下のサービス評価に局限されない評価の方向性を目指しての議論を求めたが、委員会全体の方向性の中では、介護保険サービスを中心とした議論となる。

○独立行政法人福祉医療機構軽費養護経営セミナー

独立行政法人福祉医療機構経営サポートセンターから全軽協川西理事長に依頼のあった軽費養護経営セミナー講演【大阪会場】

演題:「軽費老人ホームの役割と地域におけるソーシャルワークの実践」

～個別支援計画充実と地域ソーシャルワーク実践へ～

日時:平成29年1月12日(木)

会場:毎日新聞ビル・オーバルホール(大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル地下1F)

Ⅰ.諸会議の開催

1 総会

No	期日・会場	議題及び講演
1	平成28年度 定時総会 28.6.22(水)	<総会> ・平成27年度事業報告・決算(案)について ・平成28年度事業計画・予算(案)について ・役員改選について

於：ホテル JALCITY 田町・東京 出席数 101 人	<講演> 1 『行政報告「社会福祉制度改革、軽費関連施策の概要について」』 厚生労働省老健局高齢者支援課 課長 佐藤 守孝 氏 2 『メディア産業の現状と展望―特別でなくなる―』 (株)テレビ東京 常務取締役 廣瀬和彦 氏
-------------------------------------	--

2 常任理事会

期日	会場	議題
理事会前に開催(全5回) (4/7, 6/21, 7/2, 11/7, 3/16)	主に空港内会議 室ほか	常任理事会を中心とした執行体制について 理事会上程議案の審議

3 理事会(理事・監事・顧問・専門委員)

No.	期日・会場	議題
1	28.4.7(水) 於：貸会議室プラザ八重洲北口 出席数 22 人 (理事 19、監事 1 顧問 1、委員長 1)	審議事項・役員改選について <ul style="list-style-type: none"> ・専門委員の指名について ・平成 27 年度事業報告(案)について ・平成 26 年度決算報告(案)について ・平成 28 年度事業計画(案)について ・平成 28 年度予算(案)について ・6 月総会について(総務委員会) ・平成 28 年度老人保健健康増進等事業の協議申請について
2	28.6.22(木) 於：貸会議室プラザ八重洲北口 出席数 24 人 (理事 16、監事 1 顧問 1、専門委員 6)	審議事項・平成 28・29 年度役員体制について <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の再編について ・平成 28 年度全国職員研修(案)について ・基礎研修について ・HP について(アンケート結果を踏まえて) ・熊本地震義援金について 報告事項・専門委員の指名について <ul style="list-style-type: none"> ・H28 年度老人保健健康増進等事業協議申請の結果ならびに今後の方向性について
3	28.10.6(木) 於：貸会議室プラザ八重洲北口 出席数 18 人 (理事 16、顧問 1 委員長 1)	審議事項・今後の組織体制について(常任理事会機能強化) <ul style="list-style-type: none"> ・運営規定の改定について ・委員会運営について ・H28 年度老人保健健康増進等事業(日本総研)について ・全国職員研究会議実践発表の方向性について ・HP アンケートご意見に対する検討案について 報告事項・第 1 回基礎研修の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・その他

4	28.11.24(木) 於：新横浜国際ホテル 出席数 23 人 (理事 16、監事 1、顧問 1、専門委員 5)	審議事項・要望書(案)について 報告事項・10月6日改定運営規定について ・会費入金状況について
5	29.3.16(木) 於：貸会議室プラザ八重洲北口 出席数 15 人 (理事 14、委員長 1)	審議事項・H29年度事業計画(案)について ・H29年度6月定時総会(案)について ・要望書について 報告事項・平成28年度老人保健健康増進等事業(日本総研)の報告

4 軽費・ケアハウス職員基礎研修

期日・会場	主な内容
平成28年 8月3日(水) 8月4日(木) 於：(福)浴風会 認知症介護研究・研修東京センター(東京) 出席数 31 人	<p>1日目(8月3日)プログラム 13:00~17:30</p> <p>講義①「軽費老人ホームの制度の歴史と変遷」 講師 全軽協顧問 山中拓治 氏(社会福祉法人班山会 理事長)</p> <p>講義②「軽費老人ホームにおける現状の理解」 講師 全軽協常任理事 小岩井雅彦 氏(社会福祉法人すはま会 理事長)</p> <p>講義③「コンプライアンス・リスクマネジメント」 講師 伊井・真下法律事務所 弁護士 真下美由起 氏</p> <p>講義④「入居者支援や地域支援の在り方」 講師 全軽協副理事長 里山樹 氏(社会福祉法人寿考会 理事長)</p> <p>◎情報交換会</p> <p>2日目(8月4日)プログラム 9:00~12:00</p> <p>講義⑤「先駆的実践事例の紹介」 講師 全軽協理事 小山順子 氏(ケアハウスエマオ 施設長)</p> <p>講義⑥「今後の軽費・ケアハウスの展望」 講師 全軽協理事長 川西基雄 氏(社会福祉法人サンシャイン会 理事長)</p> <p>◎講評</p>

5 全国職員研究会議

期日・会場	主な内容
平成28年 11月24日(木)	<p>1日目(11月24日)プログラム 13:30~19:00</p> <p>・主催者あいさつ 理事長 川西基雄</p>

<p>11月25日(金) 於：新横浜国際ホテル (神奈川) 出席数 131人</p>	<p>大会テーマ：「地域公益活動・ソーシャルワーク等、地域包括ケア時代の施設機能・役割を意識した活動事例」 ～少人数の職員で実践できる取り組み事例～</p> <p>◎全国8ブロック代表者による実践発表（発表順）</p> <p>◆関東B代表（静岡県）「顔の見える関係づくり」に取り組んで ～ご利用者（入居者）確保・職員確保につながることを願って～ 発表者：ケアハウスゆやの里 施設長 白木孝典氏</p> <p>◆近畿大阪B代表（大阪府）「ケアハウス相談員による地域でのソーシャルワーク活動」 発表者：ケアハウスゆーとりあ 主任相談員 原 規高氏 施設長 安川朱実氏</p> <p>◆東海北陸B代表（愛知県）「軽費老人ホームきよすみ荘での療養食・選択食のチャレンジ」 ～一日でも長くきよすみ荘で元気に生活していただくために～ 発表者：名古屋市きよすみ荘 荘長 渡辺雅子 彰氏</p> <p>◆中国B代表（広島県）「地域における福祉支援について」 ～法人の地域公益活動を通じて～ 発表者：ケアハウス楽生苑 施設長 山中康平氏</p> <p>◆東北B代表（山形県）「心穏やかに生活をおくれる様に」 ～入居者間の交流と行事参加を促す取り組み～ 発表者：ケアハウスいきいきの郷 主任介護員 鏑水多喜子氏</p> <p>◆四国B代表（香川県）「認知症カフェで丸亀の未来づくり」 ～少人数で地域貢献～ 発表者：ケアハウスマイルドハート丸亀 施設長 岩崎雅彦氏</p> <p>◆北海道B代表（北海道）「共に繋がる地域づくり」 ～持ちつ持たれつがイイ感じ～ 発表者：軽費老人ホームA型茨戸ライラックハイツ 生活相談主任 友高美保氏</p> <p>◆九州B代表（大分県）「医療連携の取り組み」 ～施設での取り組みを地域へ～ 発表者：ケアハウス豊友館 施設長 亀井新太郎氏</p> <p>◎情報交換会 ・主賓挨拶 増田社会保障研究所 代表 増田雅暢氏</p> <p>2日目（11月25日）プログラム 9：00～12：05</p> <p>◎職員セミナー ・講演Ⅰ テーマ：「かながわライフサポート事業の取り組み」 ～法人連携による地域支援～ 講師：神奈川県社会福祉法人経営青年会 会長 かながわライフサポート事業 普及・啓発小委員会 委員長 西山宏二郎氏</p>
--	---

	<p>・講演Ⅱ テーマ：「社会保障の動向と軽費老人ホームの展望」 講 師：岡山県立大学 元教授・増田社会保障研究所 代表 増田雅暢氏</p> <p>◎審査発表</p> <p>審査委員長 西山宏二郎氏</p> <p>審査委員 全軽協役員より選抜委員 里山樹 小山順子 佐藤公一（理事） 三輪尚士（専門委員）</p> <p>審査結果 ◇最優秀発表者 北海道ブロック代表</p>
--	--

6 厚生労働省ヒアリング・協議

期日	人員	内容
平成28年8月29日(月) 於：厚生労働省14階小 会議室	ヒアリング出席・全軽協副理事長 1名 厚生労働省職業安定局 派遣・有 期労働対策部需給調整事業課 3名	主旨：介護従事者の職業紹介の実態に ついて
平成29年2月10日(金) 於：	協議出席・全軽協理事長ならびに 副理事長 3名 厚生労働省高齢者支援課 3	主旨：軽費老人ホームの今後について *巻末緊急調査報告書を事前に資料 として提示

II.委員会活動

<平成28年度29年度 各委員会名簿一覧>

各 種 委 員 会

委員会名	委員長名	委 員 (順不問)			
総務広報委員会	徳山里子	永原澄弘(副)	矢追義法	山本 晃	中川勝喜
		金城和郎	重松直孝	藤井陽子	亀井新太郎
		小幡興太郎	野内清幸		
企画研修委員会	保岡伸聡	佐藤公一(副)	西川雅浩	窪田元気	鈴木 均
		戸次有一			
調査研究委員会	小岩井雅彦	里山 樹(副)	西 秀生	浜田美奈子	木下朝子
		小山順子	三津井和夫	坂内憲之	
特別委員会 (28年度老人保健健康増 進等事業)	里山 樹				

(1)総務広報委員会

i 振り返りと次年度への課題

全軽協執行体制の基盤強化と広報活動活性化を重点目標として委員会活動を行った。

これからの活動については、一般社団法人全国軽費老人ホーム協議会が「軽費・ケアハウス」に特化した専門集団として活動を行う。HPの活用に努める。

ii 会議開催と内容.

No.	開催月	開催場所	主な内容
1	4月	福岡	H28年度予算(案)について 公募委員募集について H28年度事業報告と決算について 熊本地震義援金募集等について
2	8月	福岡	運営規定の見直し(第1回)について HPの会員専用ページ創設について 年間スケジュールについて
3	10月	大阪	運営規定の見直し(最終案)について(選抜委員)
4	11月	大阪	国への要望書作成について
5	2月	大阪	H28年度事業計画と予算について 6月定期総会について
6	3月	京都	今後の団体連携について打合せ(選抜委員)

(2)企画研修委員会

i 振り返りと次年度への課題

例年通り、全国職員研究会議の開催に向け尽力すると共に、平成28年度は、全軽協が専門組織であることから、軽費・ケアハウスに従事する新入職員や役職者への「軽費・ケアハウス職員基礎研修」を実施した。

ii 会議開催と内容

No.	開催月	開催場所	主な内容
1	6月	愛媛	・28年度全国職員研究会議について ・基礎研修について
2	7月	宮城	・28年度全国職員研究会議スケジュールについて ・基礎研修について
3	8月	東京	・基礎研修について
4	11月	神奈川	・28年度全国職員研究会議について
5	1月	大阪	・次年度事業計画について ・29年度全国職員研究会議について ・広報誌について

(3)調査研究委員会

i 振り返りと次年度への課題

前年度の「軽費老人ホーム・ケアハウス運営実態調査」から課題抽出し再度内容を詰めた調査を計画していましたが、調査内容が重複することが判明しました。そこで、委員長・副委員長会議をふまえて次年度の調査研究委員会でどのような調査をすべきかを検討しました。

次年度は、4月早々に委員会を開催する計画です。

ii 会議（総会・役員会・その他）

会議名	開催月	開催地	内容
第1回 委員長・副委員長会議	平成29年 1月	大阪	(1) 各委員会現状の課題整理 (2) 次年度事業計画
第1回 調査研究委員会	平成29年2月	東京	(1) 第1回 委員長・副委員長会議をふまえての今後の委員会活動について

(4)特別委員会

i 概要

平成28年度老人保健健康増進等事業「軽費老人ホームのサービスの提供に要する費用の基準等のあり方に関する調査研究事業」について、財団法人に本総合研究所から検討委員会委員の委嘱（平成28年7月1日～平成29年3月31日）を受け、全軽協の代表として参加。

委員会から厚労省あて提出（平成29年2月17日）の報告書骨子案にある提言に基づき、平成29年3月23日厚労省老健局高齢者支援課より、「平成27年地方分権改革に関する地方からの提案への対応について（軽費老人ホーム（ケアハウス）の費用徴収基準の見直しについて）」が事務連絡として発出される。

ii 会議開催と内容

【委員会】

No.	開催月	開催場所	主な内容
第1回	7月29日	東京八重洲貸会議室プラザ	(1) 事業概要説明 (2) 軽費老人ホームの現状 (3) 意見交換
第2回	10月4日		(1) アンケート調査に関する検討 (2) 費用基準のあり方に関する意見交換
第3回	12月21日		(1) 暫定アンケート集計に基づく結果と論点の整理確認と意見交換 (2) 報告書原案の構成について意見交換
第4回	1月13日		(1) 関係機関のヒアリング ① 厚生労働省 ② 自治体 ③ 全国老人福祉施設協議会

			④ 全国軽費老人ホーム協議会 (2) 質疑と意見交換
ヒアリング	1月29日		(1) 関係施設のヒアリング ケアプラザ而今(社福)蓬愛会/宇都宮市
第5回	2月6日	東京八重洲 貸会議室 プラザ	報告書の構成と内容の確認作業 (1) 「調査結果の確認」 (2) 「提言」の確認 (3) 「試案」の確認
第6回	2月10日		報告書骨子案のまとめの確認作業
第7回	3月23日		報告書案の最終まとめの確認作業

Ⅲ.ブロック活動

(1)北海道ブロック

i 振り返りと次年度への課題

社員数は1施設新加入があったが、1施設の脱退があり43施設となった。北海道ブロックの取り組みや年間の事業を啓蒙し、50施設を目標に進めていきたい。研修については、個別支援計画書の書式(アセスメント・評価基準・計画書)の作成を進めるに当たり、役員会・準備会を行い、十分検討できた。会員にはデータを、全道には冊子を作成し、配布していく。また、この計画書を十分活用できるよう、平成29年度の相談員研修では、アセスメントでの面接技術などの演習を取り入れたい。

その人らしさにポイントを置いた「入居者の自己実現」の支援を中心とした個別支援計画書を作成することで、入居者のエンパワメントや施設・入居者のストレングスを活用する事が、軽費老人ホームの今後の地域との関わりにおいて重要になってくると思われる。

職員研究大会での事例発表では、2施設の素晴らしい取り組みの実践発表があった。また、全国職員研究大会では茨戸ライラックハイツが最優秀賞を受賞し、うれしい結果になった。29年度も広く事例発表施設を募集し、9月の北海道11月の全国へとつなげていきたい。

通常の役員会の他、施設見学や全国大会への参加など活発に活動できたが、今後も学習と連帯で信頼感のある役員会を目指したい。

ii 会議(総会・役員会・その他)

会議名	開催月	開催地	備考
定期総会 (参加者15+25)	平成29年3月 8日	札幌	28年度事業報告 29年度事業計画
役員会	平成28年4月18日	札幌市	役員引継ぎ28年度計画
	6月 3日	札幌市	個別支援計画書について
	6月29日	札幌市	相談員研修について

	9月20日 平成29年1月23日	札幌市 札幌市	職員研究大会について 総会（反省・計画）について
役員施設見学会 (参加者10名)	平成28年9月6/7日	オホーツク方面	役員会同時 北見方面3施設見学
役員施設見学会 (参加者7名)	平成28年11月25日	二宮	里山副理事長二宮社福考寿会 3施設見学
個別支援計画書準備委員会	平成28年 4月18日 平成28年 7月27日	札幌市 札幌市	グリーンライフ光陽に於いて、 計画書の参考事例を作成

iii 研修

研修名	開催月	開催地	内容
職員研究会 (参加者52名)	28年9月30日	札幌市	事例発表 茨戸ライラックハイツ 「共に繋がっていく地域づくり」 相談員 友高 美保氏 ケアハウス豊寿 「認知症入居者の行動を奪わない為の 取り組み」 介護主任 菅井 俊太氏 講演 「福島第一原発事故被災者の 5年の軌跡」 医師 峯廻 攻守氏
相談員研修会 (参加者51名)	28年8月2日	札幌市	個別支援計画書作成とグループワーク 講演 「入居者の力を考える 個別支援計画とは」 昭和女子大教授 北本 佳子氏
定期総会時研修 (参加者28名)	29年3月 8日	札幌市	講演 「施設力アップが軽費老人ホーム生き 残りの鍵！」 (一社) 全軽協 副理事長 里山 樹氏

※大阪府社会福祉協議会 老人施設部会 軽費老人ホーム分科会講演依頼あり

平成28年12月7日(水9) 大阪リバーサイドホテル

「個別支援に関する北海道ブロックの取り組み」～個別支援アセスメント北海道バージョン～

発表者 浜田 美奈子 資料作成・パワーポイント作成 渡邊 一史・造田 裕普

(2)東北ブロック

i 振り返りと次年度への課題

第30回を迎えたブロック大会を実施し、参加した施設長及び一般職員間での意識共有を図ることができた。軽費・ケアハウスのブロック組織と専門性を次の世代に引き継ぐためには不可欠なものと考えている。その中でも消費税問題の地域格差等が顕著に出てきていることから、それぞれの施設や県単位等で抱えている課題に対しても「ブロック全体の課題」として共有し、一丸となった取り組み・対策をしていく必要性を再確認した。

このことを踏まえて全軽協社員の増強を図るためにも、活動内容・成果等をはっきりとした団体加入のメリットとして提示できるよう努めたい。

ii 会議(総会・役員会・その他)

会議名	開催月	開催地	内容
第1回役員会	28年5月10日	仙台市	○平成27年度事業報告・決算報告について ○平成28年度事業計画案・予算案について ○役員を選任について ○第30回東北ブロック大会について 他
総会	28年10月27日	岩手県	同上
第2回役員会	28年10月27日	岩手県	○全国実践発表大会発表者選出について ○消費税格差の解消取り組みについて ○全軽協役員会・委員会情報の提供 他

iii 研修

研修名	開催月	開催地	内容
役員研修	28年5月10日	仙台市	※参加者：8名 ○テーマ：「社会福祉法人制度改革と軽費老人ホームについて」 講師：(前)厚生労働省東北厚生局福祉指導課課長 宮城県岩沼市総務部参事 家田康典氏
第30回東北ブロック軽費老人ホーム施設長及び職員研究大会	28年10月27日～28日	岩手県盛岡市	※参加者：101名 ○来賓：盛岡市長 谷藤裕明氏 岩手県高齢者福祉協議会会長 渡辺均氏 ○特別講演：「地域包括ケアシステムの構築について」 講師：厚生労働省東北厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課課長 内山徹氏 ○基調講演：「社会福祉法改正・法人改革と今後の展望」 講師：(一般社団)全国軽費老人ホーム協議会 理事長 川西基雄氏

			<p>○研究発表：3施設</p> <p>①ケアハウス ラ・フォーレ天童(山形県) 「もう一度ケアハウスへ」</p> <p>②ケアハウス いきいきの郷(山形県) 「心穏やかに生活をおくれる様に」</p> <p>③ソフィアハウス睦喜(岩手県) 「法人の地域貢献活動について」</p> <p>※ブロック代表 ケアハウスいきいきの郷</p> <p>○分科会：3分科会</p> <p>①「施設の運営・管理」(施設長等)</p> <p>②「地域包括ケア・地域貢献の取り組み」 (相談員等)</p> <p>③「利用者の生活向上、ADL向上につながる取り組み」(介護・看護等)</p>
--	--	--	--

(3) 関東ブロック

i 振り返りと次年度への課題

今年度も事業計画通りに役員会、研修等の事業並びに社員への情報提供ができました。総会・セミナーの参加人員が低いという課題に対し開催要項とは別に全軽協並びに関東ブロックの活動内容入れた「入会のお誘い」を作成し、未加入の社員にも送るなど試みましたが、セミナーには参加して頂いた非社員もおりましたが、加入までには至っていませんでした。

一方、セミナーの講師を県単位の講師として紹介することもあり、社員並びに県単位の軽費・ケアハウスへの情報提供としては素晴らしい成果がありました。

次年度も引き続き社員を増やす課題を検討していく予定です。

ii 会議(総会・役員会・その他)

会議名	開催月	開催地	内 容
第1回 役員会	28年7月6日	東京都 ハロー会議室東京八重洲	総会準備等
第2回 役員会	28年9月9日	東京都 アルカディア市ヶ谷	総会準備 入会依頼について等
第1回 総会	28年9月9日	東京都 アルカディア市ヶ谷	平成27年度事業報告並びに決算書の承認について
第3回 役員会	29年2月17日	東京都 アルカディア市ヶ谷	総会準備等
第2回 総会	29年2月17日	東京都 アルカディア市ヶ谷	平成28年度事業報告並びに決算(見込み)書の承認について

			平成29年度事業計画（案）並びに予算書（案）の承認について
--	--	--	-------------------------------

iii 研修

研修名	開催月	開催地	内 容
第1回 セミナー	28年9月9日	東京都 アルカディア市ヶ谷	講義 「49の事例から見る困難事例への対処方法」 弁護士 真下美由紀 様 参加者 34名
関東ブロック 研究大会	28年9月9日	東京都 アルカディア市ヶ谷	事例発表 ① ケアハウス エマオ 看護師 久保愛子様 生活相談員 坂井美穂様 「ケアハウスと看護師の有用性」 ② 軽費老人ホーム ニュー鹿島 施設長 小岩井雅彦様 「虐待事例から考える」 ③ ケアハウス ゆやの里 施設長 白木孝典様 「顔の見える関係づくりに取り組んで」 参加者 34名
第2回 セミナー	29年2月17日	東京都 アルカディア市ヶ谷	セミナーⅠ「事例から学ぶ管理者の事故対応」 (株)安全な介護 代表取締役 山田 滋様 セミナーⅡ 社会福祉法の見直しを踏まえた 軽費老人ホームの取組について」 宮城県岩沼市総務部参事 家田康典様 参加者 30名
全国職員研究会へ 社員派遣	11月24,25日	横浜市	ケアハウス ゆやの里 様 関東ブロック代表として派遣

(4)東海北陸ブロック

i 振り返りと次年度への課題

利用者のニーズが多様化・複雑化する中で、軽費ケアハウスに期待される機能役割について、昨年度に引き続き生活支援及び地域交流。地域貢献を中心としたテーマで実践発表を行った。また、各施設が抱える課題やその対策等について情報交換を行うことで多くを学ぶことができた。

ii 会議(総会・役員会・その他)

会議名	開催月	開催地	内容
第1回役員会	28年5月9日	福井市	27年度事業報告、収支報告
第2回役員会	29年3月13日	福井市	29年度事業計画、収支予算

iii 研修

研修名	開催月	開催地	内容
東海北陸ブロック 施設長・職員研修	28年9月29 ～30日	金沢市 k k k ホテル金 沢	<p>企画研修委員長講演、外部講師講演、各県代表による事例発表</p> <p>【講演Ⅰ】 全国軽費老人ホーム協議会理事 企画研修委員長 保岡伸聡氏 『地域の共生社会の架け橋～ユニバーサルカフェの運営～』</p> <p>【講演Ⅱ】 NPO 法人ニット 理事長 加納 央氏 『地域社会において認知症を抱えて暮らしていくには』</p> <p>【事例研究発表】 6事例</p> <p>○ケアハウス ベルツリー（岐阜県） 「設備の老化に伴う大規模修繕事業 空調・給湯・照明（LED）」</p> <p>○軽費老人ホーム名古屋市きよすみ荘（愛知県） 「軽費老人ホームきよすみ荘での療養食・選択食のチャレンジ」</p> <p>○ケアハウス ユートピアハウス（三重県） 「ケアハウスにおいてインフルエンザの集団感染を経験して」</p> <p>○軽費老人ホーム 新川ハイツ（富山県） 「狭い我が家でもはつらつ生活～歩行器なしでも元気に暮らして行きましょう～」</p> <p>○軽費老人ホーム 百々鶴荘 「百々鶴荘での地域包括ケア」</p> <p>○軽費老人ホーム一条ハイツ（福井県） 「災害対策と地域力」</p>

(5)近畿ブロック

i 振り返りと次年度への課題

今年度も生活支援発表会を近畿老人施設協議会軽費部会と合同で開催し連携を図るとともに、開催地を奈良県で行うことで、初参加や地元の施設が増加した。平成29年度は軽費老人ホーム・ケアハウスが行っている生活支援や地域貢献を発信し、社会的認知度の向上に努めたい。

また、生活費・事務費補助金については各府県の情報共有を行い行政への働きかけを行う。

ii 会議(総会・役員会・その他)

会議名	開催日	開催地	内容
総会	平成28年4月11日	大阪市 リバーサイドホテル	平成27年度事業及び収支報告 平成28年度事業及び収支予算案 平成28年度～29年度役員改選
役員会	平成28年8月12日	大阪府 社会福祉指導センター	実践発表会の開催について
役員会	平成28年10月4日	グランビア大阪	実践発表会の打ち合わせ

iii 研修

研修名	開催日	開催地	内容
セミナー	平成28年4月11日	大阪市 リバーサイドホテル	・情勢報告 全軽協理事長 川西基雄 氏 ・講演 「今後の軽費老人ホーム・ケアハウスの在り方を探る」 講師：昭和女子大学教授 北本佳子 氏
実践発表会	平成28年10月20日	奈良市 奈良ロイヤルホテル	・グループディスカッション ・生活支援実践発表 ① 幸福荘（大阪府） ② ゆーとりあ（大阪府） ③ 大倭滝の峯荘（奈良県） ※ブロック代表として「ゆーとりあ」を選出 ・総括と進行 桃山学院大学 非常勤講師 塩田 祥子 氏

(6)中国ブロック

i 振り返りと次年度への課題

地域包括ケアシステムの構築が進められているなか、地域における軽費・ケアハウスの果たす役割について、各地域での生活支援や地域貢献活動など具体的な実践事例発表を通じて問題提起がされ大変参考になった。また、活動を通じて一部の県老施連との連携も図ることができた。課題としては職種別研修を検討していたが職員の人員不足等の問題があり、開催ができなかった。

ii 会議(総会・役員会・その他)

会議名	開催月	開催地	内容
第1回役員会	H28年4月28日	山口グランドホテル	
第2回役員会	H28年6月2日	広島マツダビル	・H27年度決算・事業報告 ・H28年事業活動
第1回総会	H28年6月2日	広島マツダビル	・H27年度決算・事業報告 ・報告事項
第3回役員会	H28年10月18日	広島マツダビル	・事例発表確認(中国ブロック・全国大会)
第4回役員会	H29年3月1日	山口グランドホテル	・H29年度中国ブロック活動その他
第2回総会	H29年3月1日	Y I C ビジネス アート専門学校	・H29年度事業計画 ・報告事項

iii 研修

研修名	開催月	開催地	内容
セミナー	H28年6月2日	広島マツダビル	『(軽費老人ホームを取り巻く環境)』 ・(一社)全軽協 理事長 川西基雄氏
中国ブロック実践事例発表大会	H28年10月18日	広島マツダビル	・実践事例発表 ケアハウス 楽生苑(広島県) 軽費老人ホーム しゃくなげ園(山口県) 軽費老人ホーム コーポまとぼ(広島県) 軽費老人ホーム 錦寿苑(山口県) * <u>ブロック代表として楽生苑を選出</u>
セミナー	H29年3月1日	Y I C ビジネス アート専門学校	軽費老人ホームの今後の動向 「軽費老人ホームの入居者支援等の取組みと費用徴収等に関するアンケート調査について」 ・(一社)全軽協 副理事長 里山 樹氏

(7)四国ブロック

i 振り返りと次年度への課題

平成28年度は、地域公益事業に焦点を当て、地域福祉の発展やあり方を学んだ。また、福祉介護職員育成や人材確保に向けた研修を盛り込み、施設長から現場職員まで改めて福祉の仕事の価値や素晴らしさを知ることができた。

ii 会議(総会・役員会・その他)

会議名	実施開催月	開催地	内容
役員会	28年6月8日	徳島	・平成28年度報告・決算(案)について ・平成28年度第1回四国ブロックセミナー ・総会の開催(案)について
総会	28年6月8日	徳島	・平成28年度報告・決算(案)について
役員会	28年9月21日	香川	・四国ブロック実践発表会・セミナーについて ・全国実践発表大会について
役員会	29年2月21日	愛媛	・29年度四国ブロック事業計画(案)について
総会	29年2月21日	愛媛	・29年度事業計画・予算(案)について

iii 研修

研修名	開催月	開催地	内容
第1回セミナー	28年6月8日	徳島	・情勢報告 全軽協 理事長 川西基雄 ・講演:「香川おもいやりネットワーク事業」 講師:(社福)香川県社会福祉協議会 地域福祉課課長 十河真子 氏 ・講演:「コミュニティからイノベーションをおこす —楽しい社福の経営—」 講師:(株)恋する豚研究所 代表取締役/(社福) 福祉楽団 常務理事 飯田大輔 氏
実践発表選考会	28年9月8日	香川	・愛媛(ケアハウスオリーブ) ・高知(ケアハウス白山荘) ・香川(マイルドハート丸亀) ・徳島(ケアハウス飛鳥) ・四国ブロック役員意見交換会
第2回合同セミナー	29年2月21日	愛媛	・映画「つむぐもの」上映 映画監督:犬童一利 氏 ・パネルディスカッション 犬童一利 氏 × 全軽協理事長 川西基雄 司会進行:全軽協企画研修委員長 保岡伸聡

(8)九州ブロック

i 振り返りと次年度への課題

平成28年度は軽費老人ホームが抱える諸課題についてセミナーを通して、意見交換を行い、社員施設の課題を解決することを目的に活動を実施した。また、平成28年4月の熊本地震発生を受け、社会福祉施設における災害対策セミナーを実施した。次年度以降も、施設運営上の課題や軽費老人ホームの役割、専門性の向上の為、タイムリーな情報提供やセミナーを実施する。

ii 会議(総会・役員会・その他)

会議名	実施開催月	開催地	内容
総会	28年6月17日	I Pシティホテル 福岡	・平成27年度事業報告ならびに決算(案)について
役員会	28年4月20日	I Pシティホテル	・九州ブロック理事の選任について
役員会	28年6月8日	I Pシティホテル 福岡	・平成27年度事業報告ならびに決算(案)について・ ・平成28年度総会・セミナーについて
役員会	28年10月21日	I Pシティホテル 福岡	・九州ブロック・九社連合同セミナーについて ・全軽協職員研究大会について
役員会	29年3月6日	I Pシティホテル 福岡	・平成29年度事業計画ならびに予算(案)について ・九州ブロックの今後の運営について

iii 研修

研修名	実施開催月	開催地	内容
セミナー	28年6月17日	I Pシティホテル 福岡	○セミナー 「平成28年熊本地震の被害状況の報告 ～社会福祉法人に求められる災害対策について～」 総務省行政評価局・厚生労働省厚生科学課 企画官 山田 章平 氏 (厚生労働省現地対策本部長・益城班)
セミナー (九社連合同)	28年11月11日	八仙閣(福岡市)	○情勢報告 「軽費・ケアハウスにおける現状と課題について」 全国軽費老人ホーム協議会九州ブロック ブロック長 永原 澄弘

			<p>○講義 「レーダーチャートによる生活支援モデルについて」 社会福祉法人的場会 軽費老人ホーム A 型 コーポまとは 施設長 中川 勝喜 氏</p> <p>○九州各県の情勢報告 「九州各県の情勢報告ならびに意見交換」</p>
--	--	--	--